

DISCLOSURE 2015

平成26年度 ディスクロージャー資料

NISHI-NIPPON CITY BANK



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行

目次

ごあいさつ 2

経営方針 3

創立10周年記念事業 5

平成27年3月期業績ハイライト

損益の状況(単体)	7
自己資本比率の状況(単体・連結)	7
不良債権の状況(単体)	8
貸出金の状況(単体)	8
預金・預り資産の状況(単体)	8

「New Stage 2014～汗をかこう～」トピックス 9

業務運営方針

コーポレート・ガバナンス	25
法令等遵守態勢	28
当行が契約している指定紛争解決機関	30
リスク管理の体制	31

主要な業務内容 34

組織・ネットワーク

役員	35
組織	36
店舗のご案内	37

資料編

目次	45
連結ベース	47
単体ベース	66
自己資本の充実の状況	92
報酬等に関する開示事項	125
開示項目一覧	127



西日本シティ銀行本店



シンボルマークには、西日本シティ銀行がお客さま・株主・社会とともに成長し、喜びをわかちあい、地域に根ざした花を咲かせていくという願いを込めました。上部の花びらはそれぞれがステークホルダー(個人や法人のお客さま、株主、地域社会、行員など)を表し、下部の人間像はそれらを力強く支えていく西日本シティ銀行の姿勢と喜びを表現しています。また、全体をユニークで独自性の高いフリーハンドで図案化し、躍動感や人間的優しさを表現しています。コーポレートカラーは、あたたかい人間性や輝く太陽を表すオレンジと、洗練性や先進性を感じさせるブルーの2色を使用しています。

- 本資料は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
- 計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

会社概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	194か店
従業員数	3,834名
総資産	8兆3,475億円
預金・譲渡性預金残高	7兆1,309億円
貸出金残高	5兆9,275億円



取締役頭取

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

弊行は、平成26年10月1日をもちまして、創立10周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまのあたたかいご支援とご愛顧の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

さて、平成26年度のわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要からの反動減により、消費や生産が弱含むなど、弱めの動きでスタートしました。その後は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調が続いております。当行の地元である九州地域の経済も、個人消費などに弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような経営環境のなか、弊行は、“お客さまのために、グループの総力を結集し、さらなる成長を図る「領域拡大・質的発展ステージ」”を基本コンセプトとする中期経営計画「New Stage 2014～汗をかこう～」を平成26年4月にスタートさせ、4つの基本戦略、すなわち「人間力の向上」、「考える営業の定着」、「まるごとサポートの充実」及び「営業領域の拡大」を展開し、グループ総合金融力の一層の充実に取り組んでまいりました。

また、これらの取組みに加え、創立10周年を記念し、これまでの皆さまへの“感謝の気持ち”とともに、次の10年・未来に向けて、お客さま・地域の皆さまとともに成長し、“さらなる飛躍”を目指すという想いを込めて、各種記念事業を展開いたしました。

その結果、中期経営計画の1年目となる平成26年度におきましては、収益・ボリュームともに順調に進捗いたしました。

今後とも弊行は、役職員一同、地域金融機関の本分に立ち返り、地域経済の活性化のためにたゆまぬ努力を傾注してまいります。

皆さまには、今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年7月